

令和 6 年度森林・林業白書の作成方針（案）

1. 白書の構成

（１）「令和 6 年度森林及び林業の動向」

（ア）特集・トピックス

特集として、特定のテーマについて詳細な分析等を行う。

トピックスとして、令和 6 年度における森林・林業に関する特徴的な動きを紹介・解説する。

（イ）通常章

第 I 章以降は、「森林の整備・保全」、「林業と山村（中山間地域）」、「木材需給・利用と木材産業」、「国有林野の管理経営」、「東日本大震災からの復興」の章立てとし、森林・林業全般について現状・課題の分析等を行う。

（２）「令和 6 年度に講じた森林及び林業施策」、「令和 7 年度に講じようとする森林及び林業施策」

現行の「森林・林業基本計画」（令和 3 年 6 月閣議決定）を踏まえた項目立てとする。

2. 特集のテーマ

特集のテーマを「生物多様性を高める林業経営と木材利用（仮）」とする。

持続可能な社会の実現に向けて、生物多様性の損失や気候変動など地球規模の課題への対応が急務となる中、生物多様性の保全を含む持続可能な森林経営と木材利用の重要性が認識されている。

2022 年 12 月には、生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）において「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が採択され、2030 年までに生物多様性の損失を止め、反転させ、回復軌道に乗せるための緊急の行動をとるというネイチャーポジティブの目標が掲げられた。

また、民間における取組としても、2023 年 9 月に「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）」の提言が公表され、企業活動における自然資本や生物多様性に関する情報開示に向けた国際的な動きが拡大している。

これまでも林野庁においては、原生的な森林生態系の保護等により生物多様性の保全の取組を実施してきたが、これを継続しつつ、生物多様性の保全に資する森林管理の実践例について既存の知見を整理し、生物多様性を高めるための林業経営のあり方を示すことを目的として、「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針」を取りまとめた。今後は、これに基づく林業経営を、木材需要者の理解と関与も得ながら普及・定着させていくことが必要となっている。

このような動きを踏まえ、令和 6 年度の特集では、生物多様性の重要性を改めて整理した上で、生物多様性をめぐる近年の国内外の動きや、我が国の森林の生物多様性の概況、これまでに取り組まれてきた森林における生物多様性保全等に関する施策について紹介する。その際、原生的な天然林等だけでなく、人工林においても適切な林業経営により生物多様性の保全が図られること、持続的な資源利用との両立が可能であることについても解説する。

さらに、林業事業体等による取組事例も紹介しながら、生物多様性を高めるための林業経営に向けた課題と対応方向について記述するとともに、生物多様性の観点も含め、持続可能な経営が行われている森林から生産される木材の利用に向けた今後の課題等について記述する。

3. 今後の予定

今回を含め計 3 回の施策部会で検討を重ねていただき、林政審議会での答申を経て、来年 5 ～ 6 月の閣議決定・公表を目指す（別添 1）。

（以上）

令和6年度森林・林業白書のスケジュール（案）

令和6年9月5日 林政審議会
（諮問）

第1回施策部会
・作成方針（案）の検討

11月21日 第2回施策部会
・令和6年度森林及び林業の動向
（構成（案）、主要記述事項（案））

令和7年2～3月 第3回施策部会
・令和6年度森林及び林業の動向（素案）
・令和7年度森林及び林業施策（素案）

4月 林政審議会
・令和6年度森林及び林業の動向（案）
・令和7年度森林及び林業施策（案）
（答申）

5月下旬～6月上旬 閣議決定・国会提出・公表

(参考 1)

◎森林・林業基本法（昭和三十九年法律第百六十一号）（抄）

（森林及び林業の動向に関する年次報告等）

第十条 政府は、毎年、国会に、森林及び林業の動向並びに政府が森林及び林業に関して講じた施策に関する報告をしなければならない。

2 政府は、毎年、前項の報告に係る森林及び林業の動向を考慮して講じようとする施策を明らかにした文書を作成し、これを国会に提出しなければならない。

3 政府は、前項の講じようとする施策を明らかにした文書を作成するには、林政審議会の意見を聴かなければならない。

これまでの森林・林業白書（林業白書）の特集について

年度	テーマ名
昭和 47年度	国民生活と森林・林業、国有林野事業の課題
48年度	森林資源をめぐる課題
49年度	林業の発展と山村地域の課題
50年度	林業の発展と林家の課題
51年度	林業の地域的発展をめぐる課題
52年度	木材需給と林業発展の課題
53年度	林業の発展と森林資源の整備をめぐる課題
54年度	地域林業の担い手育成をめぐる課題
55年度	木材需給構造の変化と流通加工部門の対応
56年度	林業経営の現状と林業発展の課題
57年度	森林管理の現状と緑資源確保の課題
58年度	林政の推進と国有林野
59年度	国産材時代への挑戦
60年度	森林資源整備の新たな展開を目指して
61年度	試練にたつ日本林業とその活力回復に向けて
62年度	新たな林業技術体系の構築
63年度	豊かな国民生活のための森林づくり
平成 元年度	国民のニーズにこたえる木材の供給と国内森林資源の有効活用
2年度	森林管理とその担い手のあり方
3年度	森林の管理と山村の活性化
4年度	地球環境を守る森林・林業
5年度	森林と木の時代を目指して
6年度	森林文化の新たな展開を目指して
7年度	林業、木材産業の活性化に向けて
8年度	木材の消費・流通構造と国産材供給の課題
9年度	国有林野事業の抜本的改革
10年度	木材の利用推進と森林の適切な整備
11年度	世紀を超えた森林整備の推進
12年度	これまでの林政の推移と新たな基本政策の方向
13年度	森林と国民との新たな関係の創造に向けて
14年度	世界の森林の動向と我が国の森林整備の方向
15年度	新たな「木の時代」を目指して
16年度	次世代へと森林を活かし続けるために
17年度	国民全体で支える森林
18年度	健全な森林を育てる力強い林業・木材産業を目指して
19年度	林業の新たな挑戦
20年度	低炭素社会を創る森林
21年度	林業再生に向けた生産性向上の取組
22年度	木材の需要拡大ー新たな「木の文化」を目指して
23年度	東日本大震災からの復旧・復興に向けて
24年度	森林・林業の再生と国有林
25年度	森林の多面的機能と我が国の森林整備
26年度	森林資源の循環利用を担う木材産業
27年度	国産材の安定供給体制の構築に向けて
28年度	成長産業化に向けた新たな技術の導入
29年度	新たな森林管理システムの構築
30年度	今後の森林の経営管理を支える人材 ～森林・林業・木材産業にイノベーションをもたらす！～
令和 元年度	持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業
2年度	（特集1）森林を活かす持続的な林業経営 （特集2）新型コロナウイルス感染症による林業・木材産業への影響と対応
3年度	（特集1）令和3（2021）年の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応 （特集2）グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化
4年度	気候変動に対応した治山対策
5年度	花粉と森林

注：特集は昭和47年度から掲載

森林・林業白書の特集の内容（過去10年）

年度	テーマ名・内容
26年度	【木材産業】森林資源の循環利用を担う木材産業 <u>木材産業の役割と概要等について記述。我が国の戦後の木材需給の変遷と木材産業の対応を振り返り、木材産業をめぐる最近の動向と将来に向けて取り組むべき課題を整理。</u>
27年度	【林業】国産材の安定供給体制の構築に向けて <u>人工林資源の充実や国産材需給の現状について分析し、国産材の安定供給体制の構築に向けた取組の現状や今後の課題について、「原木の供給力の増大」と「木材等の需給情報の共有と原木供給のとりまとめ」に分けて整理。</u>
28年度	【技術導入】成長産業化に向けた新たな技術の導入 <u>林業の成長産業化を図る上で基礎となる新たな技術について、林業の生産性向上、情報通信技術（ICT）の活用、木材需要拡大、花粉の発生抑制の4つに分けて、導入状況やその成果と課題等を整理。</u>
29年度	【制度】新たな森林管理システムの構築 <u>森林の集積・集約化を進める「新たな森林管理システム」の構築の方向性について、欧州の代表的な林業国であるオーストリアとの比較により、我が国林業の構造的な課題を明らかにしながら記述。</u>
30年度	【人材】今後の森林の経営管理を支える人材～森林・林業・木材産業にイノベーションをもたらす！～ <u>林業の成長産業化と森林の適切な経営管理に不可欠である人材に着目して、林業経営体や林業従事者の動向や課題を整理しつつ、森林・林業・木材産業におけるイノベーションの必要性や個々のイノベーション事例について記述。</u>
令和元年度	【SDGs】持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業 <u>我が国におけるSDGsと森林・林業・木材産業との関係性を整理するとともに、企業を始めとした様々な主体の森林との多様な関わりを、多くの事例を用い紹介。また、SDGsの達成に向けた関係者の役割を記述。</u>
2年度	【林業】森林を活かす持続的な林業経営 <u>特集1として、林業経営体の課題を整理した後、森林の循環利用を前提とした販売強化・低コスト化による収益性向上、人材の確保・育成、体制整備の取組について紹介。まとめとして、今後の林業の収支構造試算等の林業経営の可能性を提示。</u> 【林業・木材産業】新型コロナウイルス感染症による林業・木材産業への影響と対応 <u>特集2として、林業・木材産業における新型コロナウイルス感染症拡大の影響を記述するとともに、社会の変容に対する林業・木材産業の動きを紹介。</u>
3年度	【林業・木材産業】令和3（2021）年の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応 <u>特集1として、令和3（2021）年の木材不足・価格高騰の状況を整理し、輸入材から国産材への転換や国産材の安定供給に向けた取組を記述。</u> 【木材産業】グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化 <u>特集2として、カーボンニュートラル等に貢献する木材利用の意義や建築分野における木材需要の状況を紹介した後、木材産業の競争力強化の動向等を整理。最後に木材需要拡大と木材産業の競争力強化に向けた課題と対応を記述。</u>
4年度	【治山】気候変動に対応した治山対策 <u>森林が国土保全に果たしてきた役割を紹介するとともに、気候変動等に対応したこれからの方向性等について記述。</u>
5年度	【森林・林業・木材産業】花粉と森林 <u>スギ等の人工林が造成されてきた経緯やスギ花粉症等の顕在化と対応の経緯を解説するとともに、花粉発生源対策や今後の森林整備の方向性等について記述。</u>